

2020年上期 JICA海外協力隊



帰国報告会

6月27日(土) 10:00 ~ 6月28日(日) 17:00

会場：Web会議室(Zoom使用)

会費：無料(どなたでも自由に参加できます)

※事前予約が必要です(予約手順裏面参照)※

予約締切 6月25日(木) 17時

発表者	派遣国	職種	活動概要
6月27日(土) 10:00~12:00			
あさい とおる 浅井 徹 (シニア海外協力隊)	エスワティニ	コンピュータ 技術	エスワティニの教育訓練省に派遣され、全国の高校のコンピュータLABの調査及びICT教員への助言や指導を行いました。約50校のコンピュータLABでローカルエリアネットワークの構築やトラブルシューティングを行いました。
のせ ともみ 野瀬 友望 (青年海外協力隊)	ザンビア	感染症・ エイズ対策	ザンビア共和国にある国境沿いの街カズングラの地域ヘルスセンターで、主に性感染症の予防啓発に取り組みました。Youth Friendly Cornerという青少年向けの性教育グループを同僚と立ち上げ、地域の学校や村で健康教育を行いました。
かんばやしつねお 神林 恒男 (シニア海外協力隊)	コロンビア	品質管理・ 生産性向上	私は、コロンビアの首都ボゴタ市内の商工観光省と商工会議所傘下の中小企業を対象とした生産性向上、品質向上のためのKAIZEN活動の支援を2年間実施し、計15社で当初掲げた目標を達成することが出来ました。
6月27日(土) 13:00~17:00			
しまたにみなみ 嶋谷 南 (青年海外協力隊)	キリバス	助産師	キリバス共和国において、10代の女の子の妊娠を予防するための学校巡回及び啓発活動等の実施、生活習慣病予防のための配属先のスタッフを巻き込んだ食生活改善、運動習慣定着のための活動を実施しました。
いしはら たつお 石原 建男 (シニア海外協力隊)	ドミニカ 共和国	理学療法士	病院の理学療法室に勤務し、現地のスタッフと患者さんのリハビリテーションに参加しました。問題点を見つけ、話をしていき職場の改善、地方からの研修に来ているスタッフの教育を行いました。
うめたに なほ 梅谷 菜穂 (青年海外協力隊)	ラオス	コミュニティ 開発	ラオス中部にて、任地の特産品開発に関する活動を行いました。持続的な収入向上を目的に、布織物、木・竹製品などの生産者に対し製品開発や品質改善の助言・ワークショップ実施、継続的な販路の開拓を行いました。
10分休憩			
いしでらひろし 石寺 博 (シニア海外協力隊)	アルゼンチン	経営管理	アルゼンチンのINTI (Instituto Nacional Tecnologia y Industria) に赴任し、そのStaffとともに中小企業を訪問し、生産性及び品質向上のため改善活動を指導しました。
こみや しょうた 古宮 将太 (青年海外協力隊)	ヨルダン	理学療法士	知的障害児の通所施設に配属され、主に以下の活動に従事しました。 ●利用者への理学療法の実施と家族指導 ●地域の障害児・者を対象とする訪問リハビリの実施 ●利用者を対象とするアクティビティの実施(障害児・者支援隊員との協働)
すすき じゅん 鈴木 潤 (シニア海外協力隊)	トンガ	気象	トンガ気象局で、職員とともに毎日発表される気象予報や観測された気象データの解析を行い、トンガの気象予報の精度向上やわかりやすい気象情報の提供などのために活動しました。